

公益財団法人 うつのみや文化創造財団 中期経営計画評価表

I 組織の概要

平成27年4月1日現在

1. 団体の基礎情報										
所在地	宇都宮市明保野町7番66号				設立年月	平成21年4月				
市所管課	教育委員会事務局 文化課				代表者	理事長 臼井 佳子				
ホームページアドレス	(財団)http://uacf.jp (文化会館)http://www.bunkakaikan.com (美術館)http://u-moa.jp									
基本財産(資本金)	110,000千円	主な出資者			出資額	出資割合				
市出資額	110,000千円	-			-	-				
市出資割合	100.0%	-			-	-				
設立目的等	幅広い文化芸術事業を展開するとともに、市民の多様な文化活動を育成・支援することにより、魅力ある市民文化の創造を図り、地域文化の振興に寄与する。									
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>宇都宮市文化会館、宇都宮美術館の文化芸術振興事業</li> <li>宇都宮市文化会館、宇都宮美術館の管理運営事業</li> <li>その目的を達成するために必要な事業(プレイガイド事業など)</li> </ul>									
2. 団体の組織・人員情報										
役職員数	役員				職員					
					正規職員等			嘱託・臨時職員等		
	常勤	理事	1	1	正規職員	30	0	嘱託職員	14	0
		監事	0	0	再雇用職員(フルタイム)	4	0	再雇用職員(短時間)	0	0
	非常勤	理事	10	0	派遣等職員	0	0	臨時職員等(アルバイト等も含む)	0	0
	監事	2	0	市OB職員	1	1		2	1	
	計	13	1	計	35	1	計	16	1	
役員の平均年齢(歳)	63.0	役員の平均年収(千円)	-		情報公開制度の有無	○				
職員の平均年齢(歳)	48.0	職員の平均年収(千円)	6,157		個人情報保護体制の有無	○				
3. 財務状況										
貸借対照表から	項目	金額(千円)					26年度公益目的事業比率	82.2%		
		平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度決算	備考			
	総資産	815,242	889,309	931,188	958,856	979,576				
	負債	377,661	430,671	409,430	388,766	409,592				
	(うち市からの借入金残高)	0	0	0	0	0				
	純資産	437,581	458,638	521,757	570,090	569,984				
(うち利益剰余金)	327,733	348,891	412,112	460,546	460,541					
※一般財団等は、純資産を正味財産合計、利益剰余金を一般正味財産として読み替えています。										
損益計算書から	項目	金額(千円)					備考			
		平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度決算				
	総収入	1,011,490	909,533	1,005,289	973,471	930,039				
	(うち市補助金等)	44,287	88,076	72,756	46,074	75,111				
	(うち市委託料等)	764,500	680,344	736,199	748,891	676,986				
	経常損益	14,105	21,158	65,387	50,188	1,717				
減価償却前当期損益	0	0	0	0	0					
当期損益	16,803	21,158	63,220	48,433	△5					
※一般財団等は、損益計算書を正味財産増減計算書、経常損益を当期経常増減額、当期損益を当期一般正味財産増減額として読み替えています。										

**4. 経営改革に関する平成19年度～21年度までの主な取組（前計画の主な取組）**

宇都宮市文化会館・宇都宮美術館の経営改革に関する取組

- ①平成21年度両財団の合併で事務局、役員等を1本化
- ②サービス向上への取組
  - ・施設利用等の受付時間の延長、早朝等における時間外利用の弾力的な運用、ホールナビゲーターを導入した利用者へのサポート、美術館開館時間の夏季延長、HPに施設の空き情報の掲載等
- ③教育普及事業の充実
  - ・各種文化団体との協働事業の充実、若手演奏家への発表の場の提供、文化活動をしている団体への支援等
  - ・アウトリーチ事業等の充実、講座「トビダス美術館」、「アート・トーク」、「会館探検ツアー」など
- ④統合による新規事業として実施の「中学校おでかけコンサート」、「ミュージアムコンサート」など
- ⑤館外での広報（営業）活動の強化、企画展観覧料割引券の発行
- ⑥文化会館自主事業の収支率状況（収支率：入場料収入／総支出額）
  - ・19年度収支率 111%（1位／全国1,092館）
  - ・20年度収支率 90%（7位／全国1,111館）※鑑賞型普及事業を年間30事業以上事業費5000万円以上の85館中7位

※データ出所：（社）全国公立文化施設協議会 全国調査集計から

  - ・21年度収支率 78.4%（13位/47館）\*事業数40以上事業費4000万以上の47館
- ⑦補助金・助成金の積極的な活用
  - H20「芸術拠点形成事業」採択  
【小中学生による学校所蔵品再発見プロジェクト『Re+Collections』実施】
  - H21「栃木県地域文化芸術振興プラン推進事業」採択【ファミリーコンサート実施】
  - H21「財団法人花王芸術・科学財団助成金」採択【企画展『杉浦緋水の眼と手』実施】

**II 各項目の取組状況**

1. 事業の充実・強化								
No	取組項目	目標	基準値			実績値		
			H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
1	公益目的事業比率の向上	26年度末 80.0%	81%	83%	78%	79%	80%	82%
2	事業評価システムの導入・運用	23年度 導入	未導入	検討	→	試行	導入	→
3	市事業の移管	市との役割分担を明確にした上で、随時事業移管	検討	2事業移管、1事業は移管に向けた検討	1事業 協同実施	1事業 事務移管	→	→
4	教育普及事業の実施	26年度 26事業	25事業	30事業	33事業	35事業	30事業	31事業
5	文化活動支援事業の実施	26年度 2事業	1事業	8事業	8事業	7事業	13事業	12事業
6	地域連携事業の実施	26年度 2事業	1事業	2事業	1事業	2事業	2事業	2事業
7	統合による新たな事業展開	26年度 2事業	1事業	1事業	0事業	1事業	1事業	2事業
2. 経営の強化・効率化								
No	取組項目	目標	基準値			実績値		
			H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
8	市からの補助金・負担金の適正化	職員の適正配置等を踏まえた補助金の適正化	10,029千円	44,287千円	88,348千円	72,756千円	48,859千円	75,111千円
9	市からの委託料（指定管理料）の適正化	効率的な事業執行による委託料の適正化	837,851千円	764,500千円	680,344千円	736,199千円	748,891千円	676,986千円
10	受付システムの導入	23年度 ICT化の一部実施	手作業	準備	実施	→	→	→
11	特定外収入の増収	26年度決算額 9,400千円	9,373千円	11,416千円	9,856千円	17,991千円	12,871千円	10,535千円

3. 組織・人員体制の強化								
No	取組項目	目標	基準値		実績値			
			H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
12	常勤役員数の適正化（派遣等を除く。）	23年度新公益法人制度に適應した体制の検討	37人	37人	34人	37人	37人	38人
13	民間理事の登用	23年新公益法人制度に適應した体制の確立	10人/15人	準備 (9人/14人)	実施 (9人/11人)	実施 (9人/12人)	実施 (9人/11人)	実施 (9人/11人)
14	職員の資質の向上	全職員研修の実施	全職員研修の実施	継続実施				
4. 情報提供の充実等								
No	取組項目	目標	基準値		実績値			
			H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
15	ホームページの充実	市民ニーズに対応したHPの運用・新制度に対応した適正な情報の提供	事業・組織・財務情報の提供	検討	実施			リニューアルの実施
16	情報公開の推進	適切な情報の公開	情報公開要綱に基づき情報公開を実施	実施				
5. 新公益法人制度への対応								
No	取組項目	目標	基準値		実績値			
			H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
17	公益法人への移行	24年度公益財団法人移行	特例民法法人	検討	公益認定申請	公益財団法人		

### Ⅲ 評価

団体 記入欄	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の移管を行った市民芸術祭においては、各部会との打ち合わせ等も円滑となり、実施にあたっては財団の持つノウハウが生かされ業務の改善が図られてきた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の高齢化に対し、適正かつ継続的に事業を実施できる体制の確立と人材の育成</li> <li>・公益認定基準に求められるガバナンス、コンプライアンス、財務会計処理等について、実務に則した研修内容の検討と実施</li> <li>・事業評価に基づく事業見直し</li> </ul>
所管課 記入欄	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育普及事業・文化活動支援事業で基準値を大きく上回る事業数を実施しており、財団の持つ専門性やノウハウを活かした演劇ワークショップやトビダス美術館などの事業の充実・強化が図られている。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の高齢化、年齢構成の偏りを是正する適切な組織・定員の確立</li> <li>・公益財団法人としての組織マネジメントや内部統治の強化</li> <li>・事業評価システムや研修体制の充実</li> </ul>